



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月31日

上場会社名 キーウェアソリューションズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3799 URL https://www.keyware.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)三田 昌弘  
 問合せ先責任者 (役職名)経営企画部長兼広報IR室長 (氏名)後根 桂二 (TEL)03(3290)1111  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家およびアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	8,975	3.6	19	△72.6	170	△3.3	174	25.7
2022年3月期第2四半期	8,663	6.6	70	—	175	370.9	138	416.8

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 174百万円(37.3%) 2022年3月期第2四半期 126百万円(190.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	21.67	—
2022年3月期第2四半期	18.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	10,165	7,534	74.1
2022年3月期	10,745	7,455	69.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 7,534百万円 2022年3月期 7,455百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	5.8	670	21.5	760	0.6	560	0.7	69.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	9,110,000株	2022年3月期	9,110,000株
2023年3月期2Q	1,070,061株	2022年3月期	1,080,061株
2023年3月期2Q	8,033,819株	2022年3月期2Q	7,636,500株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、2022年11月15日に機関投資家およびアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する決算補足説明資料は、開催日当日に当社ホームページに掲載する予定です。また、説明会の模様および説明内容(動画)については、2022年11月18日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11
3. その他	12
(受注の状況)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限の緩和等により、社会経済活動の正常化が進むなかで、緩やかに持ち直しの動きがみられました。一方で、ウクライナ情勢等の地政学的リスクや世界的な金融引き締めを背景とした海外景気の下振れリスクに加えて、資源価格の高騰や円安による物価上昇が進行し、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス産業につきましては、本年10月に経済産業省が発表した2022年8月の特定サービス産業動態統計(確報)によれば、売上高合計は前年同月比7.3%増と5ヵ月連続で前年を上回ったほか、売上高の半分を占める「受注ソフトウェア」も前年同月比5.9%増と5ヵ月連続で前年を上回りました。

このような事業環境のもと、当社グループは、2023年3月期を初年度とする5ヵ年中期経営計画「Vision2026」を策定し、「基盤事業の質的転換」「プライムビジネス\*の拡大」「新領域へのチャレンジ」の3つの基本方針のもと、事業拡大と高収益化の実現に向けて取り組んでおります。

「基盤事業の質的転換」に向けては、プロダクトやクラウドサービスなどの各種開発ツール等を活用した開発手法の活用拡大に加え、昨年度に資本業務提携を締結した3社(株式会社J R 東日本情報システム、兼松エレクトロニクス株式会社、キャノンマーケティングジャパン株式会社)との連携の強化、請負案件の拡大、不採算案件の抑制等の取り組みを推進しております。「プライムビジネスの拡大」に向けては、業務プロセスの改善や最適なソリューションを提案できるコンサルタントの育成・採用を強化するとともに、競争力のあるソフトウェアパッケージの提供力の強化に取り組んでおります。また、本年7月にキーウェア東北株式会社(連結子会社)を設立し、本年9月に同社はいわぎんリース・データ株式会社のシステム部門の事業を会社分割(吸収分割)の方法により承継する吸収分割契約を締結いたしました。これにより、当社グループは東北地域における営業基盤とソリューション提供力を強化し、プライムビジネスの拡大を加速させてまいります。「新領域へのチャレンジ」に向けては、昨今、対策の重要性が高まっているサイバーセキュリティ領域や、今後拡大が見込まれるデジタル金融領域など、新たな事業領域拡大に向けた検討を進めております。

※「プライムビジネス」とは、お客さまと直接契約を結びサービスやソリューションを提供する事業のことを言います。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の受注高は9,745百万円(前年同期比1,037百万円増、11.9%増)、売上高は8,975百万円(同311百万円増、3.6%増)、営業利益は19百万円(同51百万円減、72.6%減)となりました。営業外収益として持分法による投資利益145百万円を計上したことなどにより、経常利益は170百万円(同5百万円減、3.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は174百万円(同35百万円増、25.7%増)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① システム開発事業

受注高は6,500百万円(前年同期比899百万円増、16.1%増)、売上高は5,733百万円(同254百万円増、4.7%増)、営業利益は202百万円(同39百万円減、16.4%減)となりました。

受注高につきましては、前期に案件拡大のあった官庁系、金融系などで反動減があったものの、運輸系、公共系での大型案件獲得などにより、前期比で大幅に増加いたしました。売上高につきましては、官庁系、公共系などで前期から継続していた案件の収束による減少があったものの、運輸系、医療系などで前期に受注した大型案件の開発が順調に進んだことなどにより、前期比で増加いたしました。損益面につきましては、官庁系において生じた不採算案件などが影響し、前期比で減少となりました。

#### ② S I 事業

受注高は2,349百万円(前年同期比152百万円増、6.9%増)、売上高は2,385百万円(同133百万円増、5.9%増)、営業損失は86百万円(前年同期は150百万円の損失)となりました。

受注高および売上高につきましては、ERP系、基幹システム系での新規の大型案件獲得などがあり、前期比で増加いたしました。損益面につきましては、売上高の増加などにより前期比で改善したものの、前期から継続している不採算案件の品質を確保するために体制強化をしたことによるコスト増などが影響し、損失計上となりました。

③ その他事業

受注高は895百万円(前年同期比14百万円減、1.6%減)、売上高は856百万円(同76百万円減、8.2%減)、営業損失は86百万円(前年同期は9百万円の損失)となりました。

受注高および売上高につきましては、新事業系が堅調に推移したものの、サポートサービス系、販売系が軟調に推移し、その他事業全体では減少となりました。損益面につきましては、売上高の減少に加え、販売系において体制を強化したことにより販売費が増加したことなどが影響し、損失計上となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

① 流動資産

流動資産残高は、6,378百万円(前連結会計年度末比669百万円減、9.5%減)となりました。主な変動要因は、売掛金の減少であります。

② 固定資産

固定資産残高は、3,787百万円(前連結会計年度末比90百万円増、2.5%増)となりました。主な変動要因は、投資有価証券の増加であります。

③ 流動負債

流動負債残高は、2,515百万円(前連結会計年度末比652百万円減、20.6%減)となりました。主な変動要因は、買掛金の減少、短期借入金の減少であります。

④ 固定負債

固定負債残高は、116百万円(前連結会計年度末比6百万円減、5.0%減)となりました。

⑤ 純資産

純資産残高は、7,534百万円(前連結会計年度末比79百万円増、1.1%増)となりました。主な変動要因は、利益剰余金の増加であります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,036百万円(前連結会計年度末比125百万円増、13.8%増)となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金は、持分法による投資利益の計上(145百万円)、仕入債務の減少(448百万円)、法人税等の支払い(102百万円)などがあったものの、税金等調整前四半期純利益の計上(170百万円)、売上債権の減少(816百万円)などにより、386百万円の増加(前年同四半期は950百万円の増加)となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金は、無形固定資産の取得による支出(46百万円)などにより、35百万円の減少(前年同四半期は293百万円の減少)となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金は、短期借入金の純減(125百万円)、配当金の支払い(99百万円)により、224百万円の減少(前年同四半期は688百万円の減少)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において2022年5月13日に公表いたしました内容から変更はありません。

なお、当社グループの事業特性として第4四半期に認識される収益の割合が高くなる傾向があるため、第2四半期連結累計期間の損益は、通期の業績予想から相対的に低くなる傾向にあります。

新型コロナウイルス感染症やロシアによるウクライナ侵攻につきましては、現時点において当社グループの事業および業績全体に与える影響は軽微であると考えております。しかしながら、当初の予想を超えた状況悪化等により当社グループの事業へ重大な影響が生じた場合には、その状況および影響度合いについて速やかに開示を行うことといたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	910,386	1,036,278
受取手形、売掛金及び契約資産	5,847,694	5,068,601
電子記録債権	36,968	-
商品及び製品	102,839	14,011
仕掛品	11,141	35,252
その他	143,508	228,588
貸倒引当金	△3,718	△3,780
流動資産合計	7,048,819	6,378,953
固定資産		
有形固定資産	88,992	86,483
無形固定資産		
のれん	127,855	117,200
その他	238,400	259,216
無形固定資産合計	366,255	376,417
投資その他の資産		
投資有価証券	3,045,211	3,132,625
その他	198,039	192,827
貸倒引当金	△2,219	△1,350
投資その他の資産合計	3,241,032	3,324,102
固定資産合計	3,696,279	3,787,003
資産合計	10,745,099	10,165,956

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,371,809	923,227
短期借入金	375,000	250,000
未払法人税等	129,230	50,358
賞与引当金	616,150	583,826
受注損失引当金	93,601	46,055
その他	582,044	661,578
流動負債合計	3,167,837	2,515,046
固定負債		
資産除去債務	115,023	116,094
その他	7,170	-
固定負債合計	122,194	116,094
負債合計	3,290,031	2,631,140
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,737,237	1,737,237
資本剰余金	758,294	757,936
利益剰余金	5,511,480	5,585,785
自己株式	△634,984	△629,076
株主資本合計	7,372,027	7,451,882
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,119	33,035
退職給付に係る調整累計額	57,921	49,896
その他の包括利益累計額合計	83,041	82,932
純資産合計	7,455,068	7,534,815
負債純資産合計	10,745,099	10,165,956

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	8,663,546	8,975,445
売上原価	7,324,406	7,643,241
売上総利益	1,339,140	1,332,204
販売費及び一般管理費	1,268,348	1,312,811
営業利益	70,792	19,392
営業外収益		
受取利息	11	7
受取配当金	1,434	1,586
持分法による投資利益	145,074	145,758
その他	36,367	25,436
営業外収益合計	182,887	172,789
営業外費用		
支払利息	7,246	907
支払手数料	20,234	7,264
投資事業組合運用損	4,460	6,083
損害賠償金	-	5,000
その他	45,839	2,856
営業外費用合計	77,779	22,111
経常利益	175,899	170,071
税金等調整前四半期純利益	175,899	170,071
法人税等	37,399	△4,042
四半期純利益	138,500	174,113
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	138,500	174,113

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	138,500	174,113
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△240	7,093
持分法適用会社に対する持分相当額	△11,552	△7,202
その他の包括利益合計	△11,792	△108
四半期包括利益	126,707	174,004
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	126,707	174,004
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	175,899	170,071
減価償却費	34,158	28,429
のれん償却額	10,654	10,654
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	14,984	△47,545
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,755	△806
受取利息及び受取配当金	△1,445	△1,594
支払利息	7,246	907
持分法による投資損益 (△は益)	△145,074	△145,758
売上債権の増減額 (△は増加)	1,264,345	816,060
棚卸資産の増減額 (△は増加)	56,260	64,716
その他の資産の増減額 (△は増加)	29,417	△78,784
仕入債務の増減額 (△は減少)	△236,015	△448,582
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△189,345	△32,324
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△106,065	20,139
その他の負債の増減額 (△は減少)	81,970	70,852
その他	△6,816	8,211
小計	988,419	434,646
利息及び配当金の受取額	55,229	55,378
利息の支払額	△7,254	△909
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△86,381	△102,753
営業活動によるキャッシュ・フロー	950,012	386,361
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,673	△2,600
無形固定資産の取得による支出	△83,578	△46,216
投資有価証券の取得による支出	△210,000	-
投資有価証券の売却による収入	12,000	1,500
その他	△6,561	11,397
投資活動によるキャッシュ・フロー	△293,813	△35,919
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,500,000	△125,000
長期借入金の返済による支出	△63,344	-
自己株式の取得による支出	△24	-
自己株式の売却による収入	960,000	-
配当金の支払額	△85,145	△99,550
財務活動によるキャッシュ・フロー	△688,513	△224,550
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△32,314	125,891
現金及び現金同等物の期首残高	1,095,372	910,386
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,063,058	1,036,278

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27項-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	システム 開発事業	S I 事業	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への 売上高	5,479,160	2,251,857	932,528	8,663,546	—	8,663,546
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	207,851	—	72,423	280,274	△280,274	—
計	5,687,012	2,251,857	1,004,951	8,943,820	△280,274	8,663,546
セグメント利益 又は損失(△)	242,173	△150,165	△9,738	82,269	△11,477	70,792

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△11,477千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	システム 開発事業	S I 事業	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への 売上高	5,733,975	2,385,274	856,195	8,975,445	—	8,975,445
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	205,635	—	70,710	276,345	△276,345	—
計	5,939,610	2,385,274	926,905	9,251,791	△276,345	8,975,445
セグメント利益 又は損失(△)	202,525	△86,737	△86,739	29,048	△9,655	19,392

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△9,655千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

(受注の状況)

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 自 2022年4月1日 至 2022年9月30日			
	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
システム開発事業	6,500,514	16.1	4,230,616	35.3
S I 事業	2,349,885	6.9	1,432,386	0.0
その他事業	895,056	△1.6	312,795	35.7
合計	9,745,456	11.9	5,975,798	24.8

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。